



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年1月22日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

若年性認知症と診断されても

22日(日) = 1、3面

迫る



日本では、2025年に65歳以上の5人に1人が認知症になる、という推計があります。高齢化が進む社会では避けられない問題で、見方を変えれば身近なものかもしれません。一方、認知症と診断されてしまうと、当事者は何もかも分からなくなってしまう、とい

うイメージが社会にあります。

43歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された、さとうみきさん＝写真＝も人生に絶望し、自宅に閉じこもる生活を続けていました。しかし、ある「出会い」がさとうさんを変えたのです。認知症の当事者の

思いを知ってもらう講演会を続け、本も出版しました。小さな希望を積み重ねていけば、やがて大きな希望になっていく。そう考えて一日一日を大切にしている、さとうさんの生き方に迫ります。

論点

原発新方針の是非

27日(金) = オピニオン面



岸田文雄政権が原子力政策を見直しました。既存原発の長期活用と建て替えの推進が柱で、東京電力福島第1原発事故以来

の脱原発依存を転換しました。「グリーントランスフォーメーション(GX)実行会議」で決定した政府方針を議論した

経済産業省の有識者会合「原子力小委員会」の委員長の山口彰氏＝写真⑤＝と、委員の松久保肇氏＝写真⑥＝に聞きました。



ウクライナから避難して来た人たちが参加したクリスマスイブ礼拝＝東京都港区で

特集ワイド 『負け犬の遠吠え』から20年

24日(火) = 夕刊特集ワイド

「未婚・子ナシ・30代以上」の女性を「負け犬」と呼んで大ヒットした『負け犬の遠吠え』が2003年に出版され、今年で20年になります。この間、未婚化と晩産化が進み、多様な生き方が尊重される社会を求め

声は大きくなっています。著者の酒井順子さん(56)＝写真＝は20年の変化について「焦りは抱かなくていいんだよ、という感覚が定着したのではないか」と話しています。酒井さんにインタビューしました。



ウクライナ侵攻1年

25日(水) = 1、3面

ロシアによるウクライナ侵攻は2月24日で1年を迎えます。「侵攻1年」の節目に向け、ウクライナの現状や、侵攻が世界にもたらした影響、今後の世界について

て、大型記事の集中掲載によって問います。第1回は、現地に入っている特派員からのレポート。ロシア軍は街や人々の暮らしを破壊するだけでなく、ウ

クライナ人が心のよりどころとして「文化」も壊しています。その実態とは。首都キーウ(キエフ)や東部ハリコフなどから伝えます。

新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年

27日に第95回センバツ高校野球の出場校が決まります。95回目の開催を記念し、通常より4校多い36校が選出されます。毎日新聞では、発表の様子は、3月18日(日)から31日まで「全試合をセンバツLIVE!」でライブ配信します。高校野球ファンの皆さん、毎年多くのドラマが生まれる高校野球、甲子園で奮闘する選手達をリアルタイムで応援しませんか？QRコードからぜひご覧ください。(都築葵)

竹橋の窓辺から

編集後記



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。